

## 若者支援施設基礎調査の概要について

調査手法	業務委託		直接実施	他調査活用
調査名称	施設利用者アンケート	支援者・当事者ヒアリング	他都市事例調査	若者意識調査
調査対象	若者支援施設利用者	教育、児童福祉、障がい、精神保健、生活困窮等の若者支援に携わる機関・団体 若者グループ 若者支援施設の職員、利用団体	9か所	若者支援施設利用者
調査方法	利用者アンケート方式（33問）	個別インタビュー方式／座談会方式	現地視察方式	利用者アンケート方式（9問）
調査目的	現施設の利用実態 施設に求める機能の把握	近年の傾向、支援の課題・ニーズ 若者支援施設への期待の把握	先進的な施設・取組 の把握	若者の意識の把握 （一部、R4年度内閣府調査と比較）
調査内容	①基本情報（利用施設、来館手段・時間、初回利用等） ②貸室利用（目的、利用の決め手、類似施設利用状況等） ③ロビー利用（目的、スタッフとの関係、施設満足度等） ④相談支援・交流イベント利用（きっかけ、効果、類似利用） ⑤施設に求める機能	①支援対象者の状況 ②支援内容 ③近年の傾向・変化 ④支援上の難しさ・課題 ⑤他機関等との連携状況（連携先・内容） ⑥あればよいと思う支援 ⑦若者支援施設に期待する支援・役割	①建物・設備 ②事業内容 ③他の機関・施設との連携状況	①自分には自分らしさというものがあると思う ②今の自分を変えたいと思う ③将来よりも今の生活を楽しみたい ④自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ ⑤うまくいかかわからないことにも意欲的に取り組む ⑥もし自分が何か困ったときには家族以外にも頼れる人がいる ⑦どちらかと言えば、今の札幌は若い世代に対して優しい社会である ⑧安定した収入さえあれば、実家から出て暮らしたい ⑨出会いがあれば、結婚したい
実施主体	企画：札幌市 調査票作成、集計：委託事業者 配布、説明：若者支援施設	企画、立会い：札幌市 実施、記録作成：委託事業者	札幌市	若者支援施設 ※利用者登録時アンケートを活用
実施時期	R6年7～8月	R6年7～8月	R6年8月	R6年4月～10月